

子育て関連

守る
子育て・教育

創る
地域の未来・まちの楽しさ



出生から進学まで切れ目ない 子育て・教育・こどもの夢応援プログラム

子育て関連では、これまで取り組んできた、『応援金115』『保育料完全無償化』『子ども医療費窓口完全無償化』『児童センター利用料無償化』などに加え、今年度から『小学校・中学校給食の完全無償化』『保育園（認定こども園含む）給食の実質無償化』を実施します。また、夢に向かって挑戦するこどもが安心して大学などの学業に専念できるよう『給付型奨学金「115奨学金」』を創設し、令和9年度からの給付に向け募集を開始します。

また、勝山市の英語教育の集大成として、勝山高校が実施する英語圏への海外研修旅行費用に対し助成を行います。

保育園給食の実質無償化

予算額 ≧1,825万円

子育て世帯の負担軽減を図るため、保育園給食の実質無償化を実施します。

※3歳以上の園児の副食費4,900円/月、主食費800円/月を上限

小中学校給食の完全無償化

予算額 ≧1億3,030万円

小学校の学校給食について、国による給食無償化分の対象となる月5,200円に加え、保護者負担部分を市単独で無償化します。また、中学校の学校給食については市単独で完全無償化を行い、小中学校給食の完全無償化を実現します。

部活動の地域展開

予算額 ≧1,653万円

少子化や教員の負担増加などにより、従来の体制での学校部活動の運営が難しくなっている現状を踏まえ、休日などの部活動を地域の活動として実施できる環境を整えます。

「115奨学金」を創設

令和9年度から給付

夢に向かって挑戦するこどもたちが安心して大学などの学業に専念できるよう、給付型奨学金「115奨学金」を創設し、令和9年度からの給付に向け令和8年8月から募集を開始します。

詳細は今後HPや広報紙でお知らせします。



勝山中学校開校に向けて

スクールバスの購入

予算額 ≧1億8,435万円

勝山中学校のスクールバス運行に向け、スクールバス12台の購入を行います。

自校式完全給食へ

予算額 ≧債務負担行為1億1,352万円(令和13年度まで)

勝山中学校の自校式完全給食の開始に向け、給食調理事業者の決定を行います。



恐竜のまちで恐竜博士になろう

予算額 ≧1,280万円

全国の恐竜好きの中高生が集い、共に学べる場として「恐竜ジュニアアカデミー in勝山」を開催し、将来の専門的な学びへとつながる育成の流れを創出するとともに、全国に向けて「恐竜のまち勝山」を発信します。

恐竜講演会「学ぼう！ Dinosaur」

小学生が恐竜を中心に学び、交流する「かつやま恐竜スクール」

今年度も実施！

雪国の魅力を体験

予算額 ≧225万円

小・中学校スキー教室（遠足）を通して、地域の自然や文化に対する理解を深め、地元への愛着心を醸成するため、リフト券などの購入費に対し助成を行い、雪国ならではの教育体験を推進します。



スポーツするこどもたちを応援

予算額 ≧365万円

スポーツへの愛や憧れを抱くこどもたちを応援するため、県内で行われるトップ選手の試合観戦費用を助成します。

あわせて、市内の小・中学校を対象としたサッカー・バスケットボール教室を開催するほか、バドミントンのトップアスリートを講師としてお招きし、こどもたちが直接指導を受けられる環境を創出します。



わくわくイングリッシュチャレンジ

予算額 ≧2,982万円

こどもたちの英語に触れる機会を広げるため、国際交流員（CIR）と外国語指導助手（ALT）を増員し、幼少期から英語に親しめる環境づくりを進めます。

CIR 現在2人配置しているCIRを1人増員し、小学校・こども園・保育園・児童センターなどを訪問します。

ALT 現在2人配置しているALTを9月から1人増員し、学校生活の中でこどもたちが英語に触れ、親しむ機会を増やします。

Katsuyama English Camp

小学校の夏休み期間に、小学校6年生を対象に多様なプログラムを通じ英会話がある日常を体験できる機会を提供します。

今年度も実施！

結婚を支援

予算額 ≧1,245万円

結婚相談を専門としている民間の婚活アドバイザーによる個別相談や婚活イベントなどと連携した伴走型のサポートを実施します。

また、仕事や地域を通じた自然な出会いの場を提供する異業種交流会の開催、スキルアップ講座の継続的な開催および「ふく恋マッチングシステム」の新規利用登録料の助成などを行い、結婚支援体制を強化します。



詳細はこちら